

August 8, 2016

Dear Fiona and coordinators,

Here is the Japanese translation of the minutes of Cambridge coordinators' assembly.

I hope that Japanese characters will appear in this list. In case of not, I will also post this translation at the Japanese coordinators' list.

Mako

コーディネーターの皆様

17カ国から54人のコーディネーターが、ケンブリッジでの国際会議開始直前の7月18日（月）から20日（水）まで集いました。

この会の中で、5つの提案が生まれ、承認されました。その5提案をここに述べます。

それぞれの提案に関する議論の記録は、今後、それぞれの提案ごとにこのリストに投稿を予定していますので、それぞれのテーマについての今後議論を続けるための参考にしてください。もし、それらの投稿の翻訳も必要でしたら、翻訳者に直接ご連絡ください。

それぞれの決定事項を実現するには、世界中のコーディネーターコミュニティからできたチームが必要です。それに参加するためには、それぞれの項の主導者(prime mover)として挙げられている人にご連絡ください。

* チーム 1 : 国際フォーカシング研究所の構造に組織の国際的性質を反映させる *

研究所の名称が変更されました。TIFIの構造を組織に国際的性質をいかに反映させるかを検討するためのFunctional Whole（検討委員会）を創ることを提案します。

連絡係 : Nada Lou

ILCとのつながり : _____

* チーム2: 2018年 ジェンドリン哲学シンポジウム

Evelyn Pross と Donata Schoellerが2018年に、ジェンドリン哲学と様々な今日の問題へのその適用に関する3日間の学際的シンポジウムを企画するのを支援しよう。

連絡係 : Evelyn Pross

ILC とのつながり Donata Schoeller

* チーム3: この絶望的時代における希望 *

1. 世界の隅々から、フォーカサーたちが自分たちが経験した恐怖から希望への内なる旅について書いてもらう。
2. ブログやパネルやビデオやフェイスブックやYoutubeをすることを勧めたい。
3. すべてのフォーカサーのウェブサイトで、絶望や恐怖や圧倒される状況に対処するためにもフォーカシングを使えることを示すページを創ってもらいたい。お互いのウェブサイトをリンクする。PBS(アメリカ公共放送)制作のこのテーマでの1時間番組で、アフガニスタン出身のAkmalがフォーカシングについて語っている。

4. 「絶望から希望への道」といったコースをすべての言語で創りたい。この問題に関する多くのサイトとのリンクを増やしたい。

連絡先： Joan Klagsbrun

ILCとのつながり： Ruth Hirsch

* チーム4：コーディネーター指名に関するILC提案 *

ILCと池見陽がコーディネーター指名のための提案を工夫した。池見さんとILCはこの提案についてのプロセスを続ける予定である（この提案はコーディネーター・リストで紹介される予定）。

連絡先： _____

ILCとのつながり池見陽

* チーム5: 追跡グループ

コーディネーター会で挙げられた提案と決定事項の進行を確認するための追跡グループを形成する。このグループは私たちの提案のすべてを支持し可能にし促進したいと思う人たちによって構成される。

コーディネーター会後のこのグループによる進展：私たちの目標は、コーディネーターたちの活動を調整し支持することであり、必要なところでコーディネーターたちの活動についての透明なコミュニケーションを刺激することである。

連絡先： Tine Swyngedouw

ILCとのつながり： Ruth Hirsch

それぞれの決定事項に関する投稿が以後続きます。見逃さないようご注意ください。

Beatrice Blake, Tine Swyngedouw, Fiona Parr, Barbara McGavin, Bilha Frolinger

コーディネーター会準備グループ転じて追跡グループ